

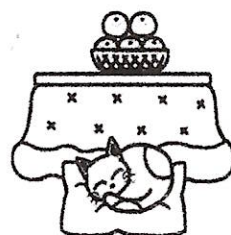


こちら、三中図書館 12月号

市川市立第三中学校図書館 2021.12.1



朝晩の冷え込みが辛い季節になりました。
もうすぐ冬休みがやってきます。クリスマス・大掃除
お正月とイベントの多い時期ですが、その合間に
炬燵で読書もいいですよ。



冬休み用の本を貸し出します。



貸出実施日：12月15日（水）・17日（金）

20日（月）・22日（水）

貸出冊数：一人10冊まで

返却期限：1月14日（金）

本を返しましょう。

返却期限が過ぎても戻ってきていない本がたくさんあります。あなたの身の回りに借りっぱなしの本はありませんか？

来週初めの時点で返却期限を過ぎている本について、督促状を作成します。今週中に身の回りを確認して、督促状をもらってしまわないようにしましょう。

もし督促状が届いてしまったら、大急ぎで返却してください。

未返却の本がある場合は冬休み用の本を貸し出すことはできません。

12月は1年最後の月。今年借りたものは今年のうちに返して、すっきりした気持ちで新年を迎えたいものですね。



おすすめの本

『車夫 1』 『車夫 2 幸せのかっぱ』

『車夫 3 雨晴れ』

いとうみく／小峰書店

この本の魅力は何かと言うと、まず何と言っても主人公がイケメンな事です！表紙の絵を見れば納得していただけると思いますが、濃すぎない醤油顔にすらっとした細マッチョな体、たぶん彼なら汗をかいていても涼し気に見えるんじゃないかと思わせるクールな気配が漂っているのです。その上、「吉瀬走（きっせそう）」と名前までがイケメンなんです。

走は高校の陸上部で長距離走の選手として力を伸ばしていました。特別な強豪校ではなかったのですが、指導者にもチームメイトにも恵まれて、「走るのが好き」という走の気持ちは満たされ充実した高校生活を送っていました。

ところが、父親が事業に失敗して借金を抱え家を出てしまったところから、走の人生は暗転していきます。父親に続けて母親も出奔してしまい、一人家に残された走はとうとう食べるものも無くなって、高校を辞めて働く決心をします。

そんな走の前に現れた陸上部のOB・前平から、自分の働いている人力車の店で一緒に車夫をやらないかと誘われるのです。

その店の名前は「力車屋」。この店の車夫の条件は、もちろん人力車を引いて長距離を走れることと、もうひとつ顔がいいこと。走はこの条件にぴったりあてはまっていたのです。

無口で決して社交的とは言えない走が、力車屋のみんなや一期一会のお客さんたちとの関わりの中で自分の居場所を見つけていきます。

浅草の街を舞台に、あたたかな人情がつなぐ連作短編集です。

あなたも吉瀬走に会ってみて！

